

「学習・情報センター」としての学校図書館の在り方

～第4学年における教師への支援を通して～

沖縄市立山内小学校

司書 大山 ひろ子

I テーマ設定の理由

現代の子どもたちは、物質的な豊かさに恵まれ、インターネットや携帯電話などのメディアを活用した資料収集や資料作成などの能力を使いこなす時代になってきている。そして近年、学校では、教育の情報化が推進され、学校図書館においても、「学習・情報センター」としての役割が求められている。

小学校学習指導要領（総則編）の「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」には「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。」とある。又、学校図書館法第2条においても「図書館資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童または生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備」とある。

このように学校図書館は児童の想像力を培い、豊かな心を育むとともに、主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与する学校教育の中核的な役割を果たさなければならないと考えるが、実際、本校の図書館はどうであろうか。

本校では「感性豊かな子」を教育目標の一つに掲げ、読書指導の充実を図り、読書量も年々増加してきている。しかし、図書館利用の時間は、どの学年も「自由読書」が中心で授業との関連を深めた図書館の活用が少ない。さらに、図書館システムが電算化されておらず、司書は、毎日の貸出しや統計作業に多くの時間を費やされ、教師への支援あるいは授業への支援が十分に行われていない。その為、レファレンスへの対応ができないまま、図書館が「貸出し・返

却をする場」だけになっている。

平成15年4月からは、12学級以上の学校に司書教諭が発令されたが、学級担任としての時間軽減がない兼務の為、本来の司書教諭の職務を遂行しようとしてもなかなかできない現状がある。このような状況で、私たち司書が教師・児童を支援できるような方法はないものだろうかと考えた。

そのためには、学校図書館が「読書センター」だけでなく、「学習・情報センター」としての機能をより充実させ、各教科・領域、そして、総合的な学習の時間における図書資料を活用した学習への支援をすることが重要である。

「学習・情報センター」とは、「子どもの主体的な学習活動を豊富な資料と多様なメディアによって支えていく図書館」のことである。児童が、自ら学び問題解決できるような力を育てるためには、まず教師への支援が必要となってくる。

そこで、今年度司書教諭が配置されていて、調べ学習が重要な位置を占める第4学年を中心に支援を行うことにした。今回の支援を通して、これからの図書館運営の新たな方向性がみえてくるであろうと考える。また、授業に関連する資料リストを作成し、教師を支援することにより、図書館を「学習・情報センター」として活用できるであろう。

以上のことから、学校図書館で司書が教師を支援することにより、図書館が利活用され「学習・情報センター」としての機能を発揮できるであろうと考え、本テーマを設定した。

Ⅱ 目指す図書館像

- 授業の支援体制が整えられている図書館
- 児童が「学習・情報センター」として積極的に活用できる図書館

Ⅲ 研究目標

図書館が「学習・情報センター」としての機能を発揮して、教師を支援し、読書環境を整える。

Ⅳ 研究仮説

1 基本仮説

教師への支援を行うことにより、図書館の利活用が促され、子どもたちの読書環境が充実するであろう。

2 具体仮説

- (1) 図書館教育に関する理論研究や図書館利用に関する実態調査を行い、分析することにより、これからの図書館運営の方向性が明確になるであろう。
- (2) 授業に関連する資料リストを作成することにより教師への支援ができ、「学習・情報センター」としての図書館活用が推進されるであろう。

Ⅴ 研究構想図

次ページ

Ⅵ 研究内容

1 研究内容 1

(1) 文献・資料等による理論研究

① 学校図書館の機能

これまでの図書館は、図書を一定の場所に整理保管して、児童生徒が静かに読書するという「読書センター」的な役割を中心に運営されてきた傾向がある。しかし、これからの学校図書館には、確かな学力を身につけるための「学習・情報センター」としての機能も発揮することが求められており、教育課程の

展開を支えるという役割が期待されている。

塩見 昇（「教育としての学校図書館」）は、学校図書館の機能として次の6つをあげている。

ア 児童生徒の探究に役立ち、知的好奇心を刺激する資料、豊かな人間性をはぐくむ読書財を収集、整理し、利用に供することで、学習を支え、発展させる。

イ 教師の学習指導の計画、授業の展開に役立つ資料を収集、整理し、利用に供することで、教師の教育・研究活動に協力し、援助する。

ウ 児童生徒の読書活動を励まし、読書の楽しさを体験させ、読む自由を広げることで、生きる力としての読書経験を豊かにする。

エ 児童生徒が図書館および図書資料を利用し、自主的な学習をすすめることのできる探究能力を培う。

オ 学年、学級などのカベをこえて、児童生徒、さらに教師が交流し、共有する知的創造のひろばとなる。

カ 児童生徒及び教師が、広大な資料や情報の世界にどこまでもアクセスできるための最も身近な入口となる。

このように、今日の学校図書館は読書センターにとどまらず、「学習・情報センター」として、児童生徒の学習を支え、さらには教師の教育・研究活動に協力し、支援する役目が重要視されている。

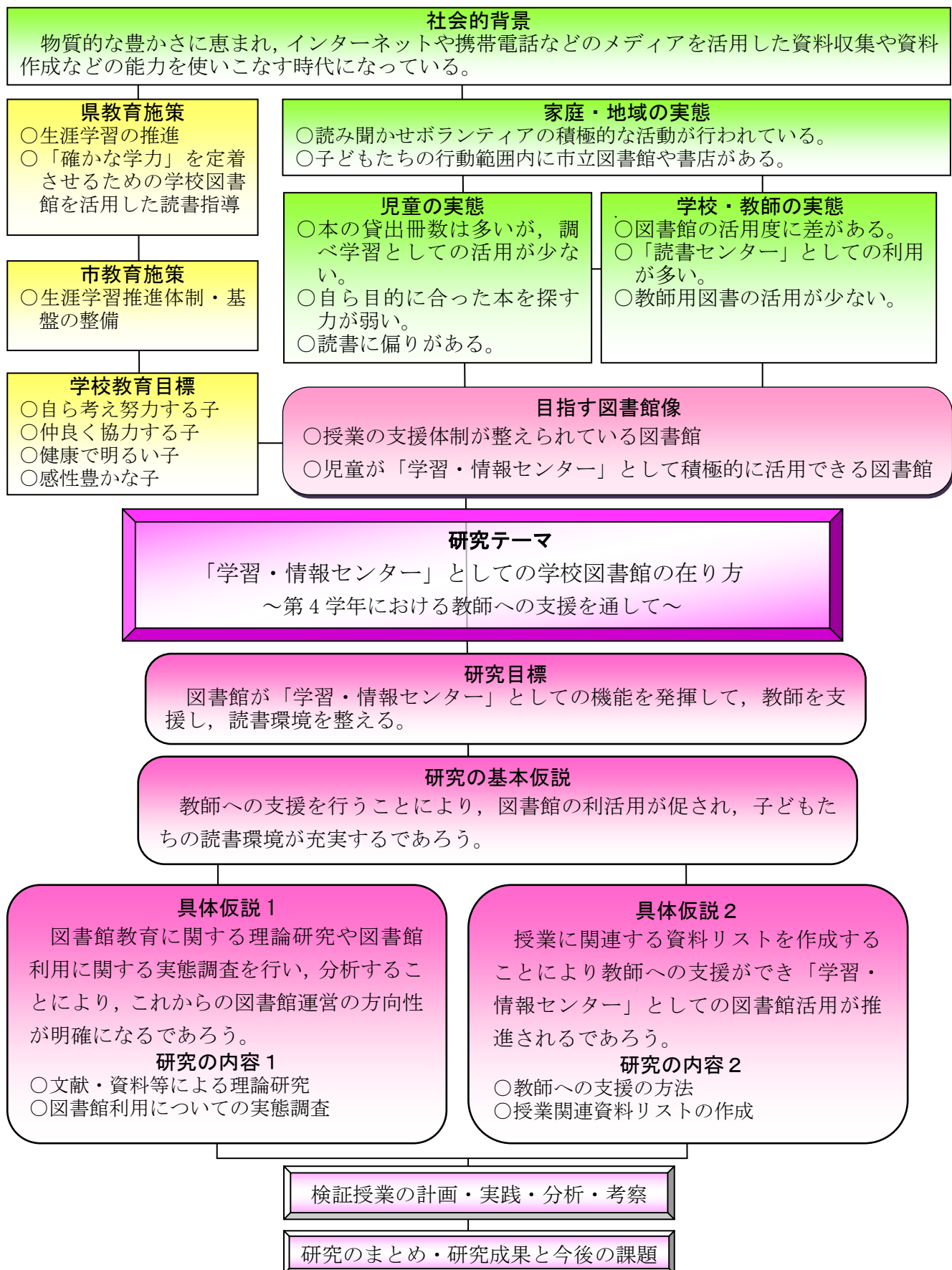
② 「学習・情報センター」としての学校図書館

学校図書館法の第2条において、学校図書館は、学校の教育目標を達成するために必要な情報・資料を収集、整理し、これを主として児童生徒および教師の利用に供することを目的とする「学習・情報センター」とであると捉えられている。

文部省（1995）は「学習情報センターとしての学校図書館」を次のように述べている。

「これからの学校図書館には、児童の主体的学習活動を支える場として、いわゆる学習センターという機能を効果的に発揮していくことが極

V 研究構想図



めて重要である。また、社会の情報化が進展する中で、情報を収集・選択・活用する能力を育成することが重要となっており、情報センターとしての機能を充実することも必要である。このため、図書資料の整備に当たっては、問題解決的な学習、探求的な学習など児童の主体的学習に対応できる図書資料の構成などに配慮していく必要がある。

さらには、各教科などにおける図書資料の活発な利用を考慮し、学校図書館をどこに設けたらいいか、図書資料をどのように整理するかなどを見直す必要がある。その際、児童が視聴覚資料を利用したり、コンピュータ検索をしたりすることができるようなスペースを学校図書館に確保していくことも重要である。」

最近では、「情報」のますますの多様化と情報通信の発達を受けて、学校図書館を「メディアセンター」として位置づける見方が主流になってきている。「メディアセンター」とは、図書資料だけでなく、教育活動に必要なあらゆるメディアを扱う図書館のことを示している。「新しい時代に対応した学校図書館の施設・環境づくり～知と心のメディアセンターとして～」(文部科学省・2001)には、「学校図書館が学校における学習活動を全面的に支援する中心的な施設として位置づけられることが重要である。」と記されている。そして、「学校全体に図書館を中心としたメディア活用の体制が整備されることにより、校内外のあらゆるメディアについての情報収集・活用が可能となる。」とある。

学校図書館が「学習・情報センター」としてさらに「メディアセンター」として発展していくためには、現状の施設・設備の環境は未だ不十分であるが、これからの図書館運営の方向性のあるべき姿として位置づけたい。

③ 「小学校学習指導要領」に示された図書館の役割

学校図書館をどのように活用するかについては、小学校学習指導要領第1章総則の第3総合的な学習の時間の取り扱いにおいては「学校図

書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などについて工夫すること。」とある。

そして、第2章各教科の第1節国語では『「C読むこと」に関する指導については、読書意欲を高め、日常生活において読書活動を活発に行うようにするとともに、他の教科における読書の指導や学校図書館における指導との関連を考えて行うこと。なお、児童の読む図書については、人間形成のため幅広く、偏りがないように配慮して選定すること』と示している。このように国語においては、児童の読書意欲を高め、読書活動を活発に行うよう、他の教科における読書の指導や学校図書館の指導との関連を重視している。

さらに第2節社会科においても「学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して、資料の収集・活用・整理などを行うようにすること」とあり、情報活用能力の大切さを述べている。第4章特別活動においても学級活動で「学校図書館の利用」が挙げられている。

以上のことから、学校図書館は読書活動推進の拠点となると共に児童生徒の学習に必要な情報を十分に提供することが求められている。

④ 司書教諭の学年・教科との連携・支援

紺野 順子(「子どもが生きる学校図書館」1999)は司書教諭が行う教師への支援として以下のことを述べている。

「学校図書館活動を効果的に展開するためには、学年や教科での学習指導が、どのような資料を使って、いつ、どのようにして展開されるのかをきちんと把握しておくことが必要である。学年や教科の目標や年間指導計画表をそろえたり、使用する教科書を図書館に整備したりすることもコミュニケーションを図るうえで有効である。これらの資料や個人的なコミュニケーションによって、学年や教科が、学校図書館に何を期待しているかを把握しておく、適切でタ

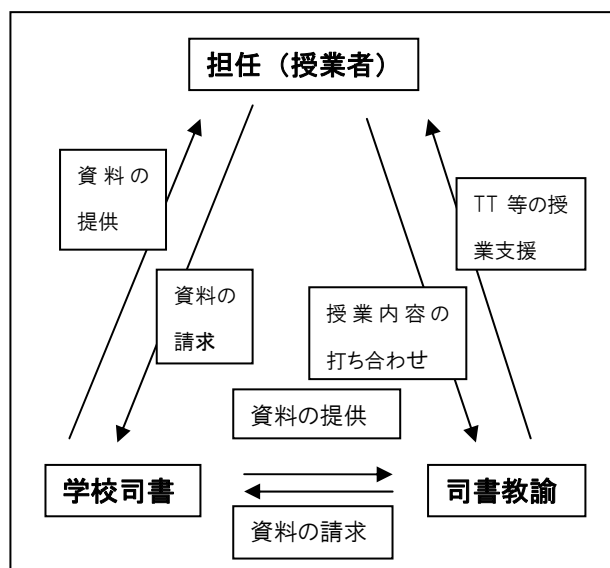
また、定期的に開かれる学年会、教科会の場を組織的な連携に活用することも大切である。学習指導に必要な資料に関する情報を提供したり、児童・生徒の図書館利用に関する連絡や報告、相談を行ったりすることが考えられる。

以上のことは司書教諭としての職務であるが、学校司書としても取り入れることができることもある。定期的に学年会に参加する、またはその情報を提供してもらうことで、その学年の学習についての進行状況がわかり、事前に資料の準備ができるようになると考えられる。

学校司書・司書教諭が授業に関わる場合、授業者を含めた三者の連携を、西川 誠二は「担任（授業者）・司書教諭・学校司書の連携で行う授業」（学校図書館No.680/2007）の中で以下のよう
に示している。

イ 集まった図書資料をもとに司書教諭・担任（授業者）・学校司書が、図書資料をどの場面で活用するとより効果的に授業のねらいを達成できるかについて打ち合わせを行い、さらに選書する。

この三者の連携を図で表すと図 1 のようになる。



⑤ 司書と司書教諭の役割

司書教諭は、学校図書館法で、「学校には学校図書館の専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない。」(学校図書館法第5条)と定められている学校の職員である。その資格要件とは、教員であり、かつ司書教諭の講習を修了している者である。学校司書は、「図書館法」(1950年制定)という別の法律で定められた、主として公共図書館で働く「司書」の資格を有する学校の職員である。両者はそれぞれ資格条件や職務の内容も大きく異なっている。

学校司書と司書教諭の協働を考えるときに、学校の実情に合った役割分担をし、互いに尊重し協力し合いながら学校図書館運営を進めていくことが大切である。そのことが図書館の機能の充実につながり、子どもたちの学習の深化発展につながっていくであろうと考えられる。

表1

学校図書館職員の職務内容(案)

社団法人全国学校図書館協議会 2002 年

主として司書教諭が行う職務	【経営】 ◇教育課程への参画 ◇学校図書館経営計画の立案及び実施 * 学校図書館経営計画 * 読書活動推進計画 * 学校図書館メディア整備計画 * 情報・メディアを活用する学び方の指導計画 * 予算の作成と執行・決算 * 学校図書館要覧の作成 * 学校図書館評価 * 学校図書館の研修計画の立案及び実施 ◇メディア選択委員会等諸会議の運営 * メディア選択委員会 * 学校図書館運営委員会 ◇校内組織との連絡, 調整 ◇校外の関係機関との連絡, 調整	【指導】 ◇情報・メディアを活用する学び方の指導の展開 * 利用マナーの指導 * 情報モラルの育成 * メディアの特性と情報収集の指導 * 学習のまとめと情報発信の指導 ◇学習指導への支援 * 指導事例の提供 * TT としての授業支援 ◇読書活動の推進 * 本の紹介 * 朝の 10 分間読書 * 読後の指導 ◇集会・イベント活動の推進 * 読書週間 * 読書会 ◇図書委員会活動の指導
主として学校司書が行う職務	【整備】 ◇図書館メディアの組織化 * メディアの発注・受け入れ・分類 * 目録の作成と配列 * メディアの装備 * メディアの配架 * 二次資料の作成 * ファイル資料の作成, 配列 * メディアの保持, 点検, 廃棄 ◇図書館施設・設備の維持・管理 * 読書環境の整備 * 備品の維持, 管理 * 消耗品の補充 ◇諸帳簿・記録の作成 * 図書館日誌 * 予算差引簿 ◇調査統計 * 貸出統計 * 利用統計 * 読書調査	【奉仕】 ◇図書館メディアの提供 * 利用者カードの作成, 管理 * 閲覧と貸出 * 予約・リクエスト ◇情報サービス * レファレンスサービス * 情報検索の支援 ◇書誌サービス * メディア, 情報の紹介, 資料リストの作成 ◇読書案内 * ブックトーク * ストーリーテリング * 読み聞かせ ◇広報活動 * 利用案内・ポスターの作成, 掲示 * 図書館報等による広報活動 * ホームページの作成, 管理, 更新 ◇機器の利用への支援 * CD-ROM * オンライン検索

(2) 図書館利用についての実態調査

今回の研究では, 教師向けと児童向けの 2 種類の調査を実施した。この調査から, 本校の図書館の利用実態と望まれる図書館像が捉えられるような調査になるよう留意した。

① 図書館利用実態調査(教師)

・調査の目的

学校図書館を授業で活用するにあたって教師がどのように位置付けているか, また司書にどのような支援を求めているかを知るために実施した。

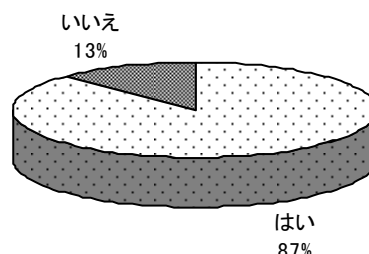
調査月日 平成 19 年 11 月 19 日

回収率 94%

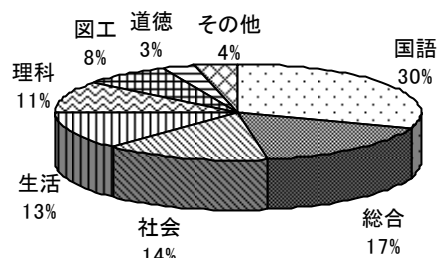
対象 山内小学校教職員 34 名

・アンケート質問事項, 結果と考察

問1 あなたは読書利用以外で図書館を活用したことがありますか



問2 図書館を活用した授業で主な教科を3つあげて下さい

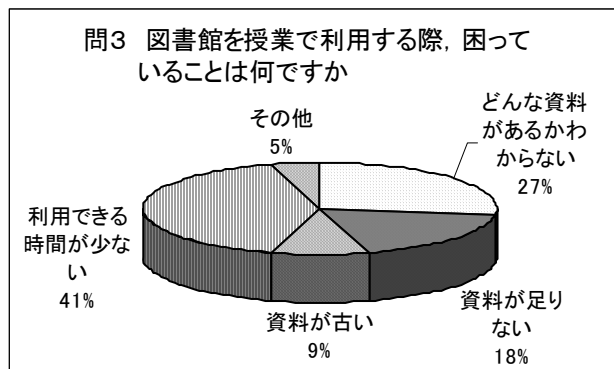


[問1・2の考察]

読書利用以外の図書館の利用度について調査した。87%の教師が読書利用以外で図書館を活用していることから, 読書センター以外の機能

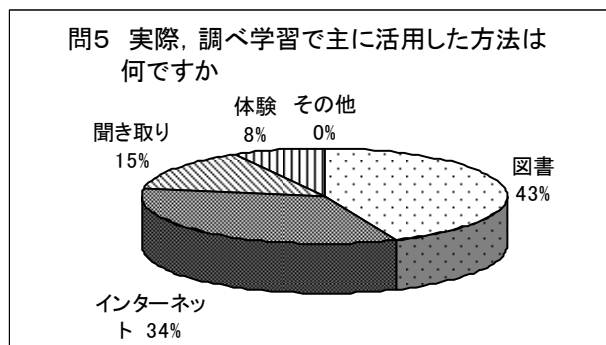
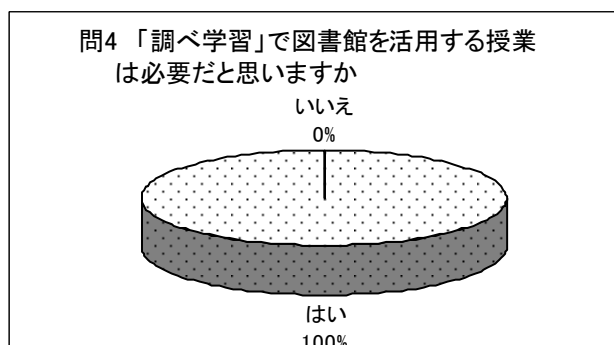
を図書館で見出していることがわかる。

問2では、質問1で〈はい〉と答えた人に対し複数回答を可として行った。国語・総合的な学習の時間・生活科・社会科で74%を占める。これらの教科の資料リストを作成することが有効な支援になると考える。



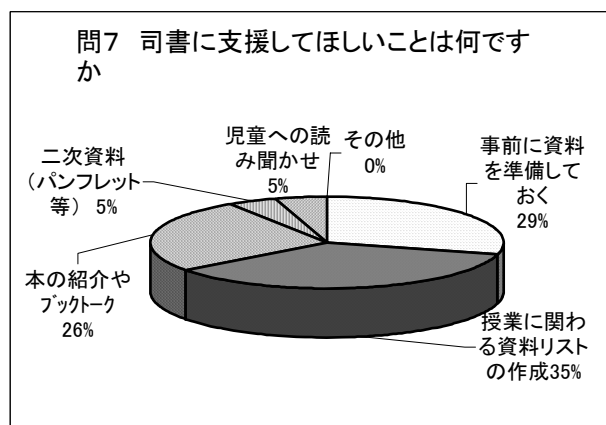
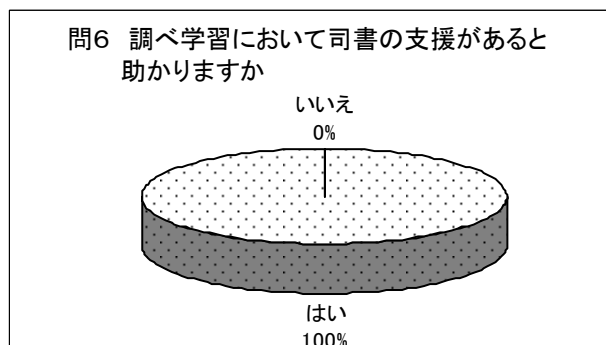
[問3の考察]

41%の教師が「利用できない時間が少ない」と答えている。本校では週に1時間、使用割当があり、5時間目まで自由に利用できる時間がない為だと考えられる。また、27%の教師が「どんな資料があるかわからない」と答えている。司書は教師に積極的に図書を紹介する必要がある。全校児童に配布する図書館便りだけでなく、図書を紹介する場を設けたり、教師向けの図書便りを発行したりするなどの方法も考えられる。授業の展開に沿った資料リストを作成して配布することも有効な支援になるであろう。



[問4・5の考察]

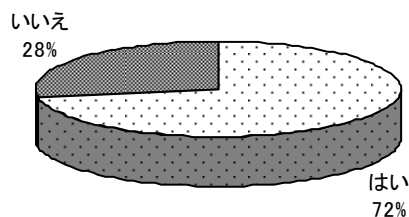
教師全員が授業での図書館の活用を必要としている。しかし、図書からの調べ学習では43%である。また、図書館にインターネット接続のパソコンがあれば、学習で同時に使用出来、効果的な調べ学習が展開されるであろう。



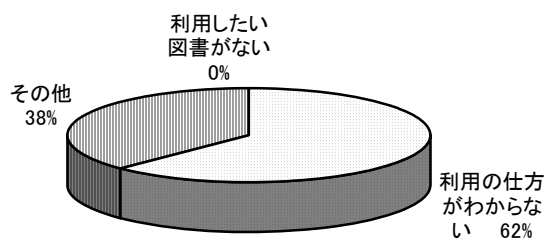
[問6・7の考察]

教師全員が司書に支援を求めていることがわかる。司書に支援してほしいことでは、「授業に関連した資料リストの作成」が35%を占める。又、「事前に資料を準備すること」や、「本の紹介やブックトーク」をするためにも、資料リストの作成が有効な支援となるであろう。

問8 あなたは教師用図書を利用したことがありますか



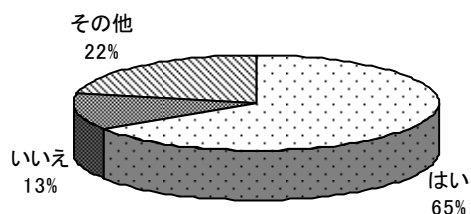
問9 教師用図書を利用しない理由は何ですか



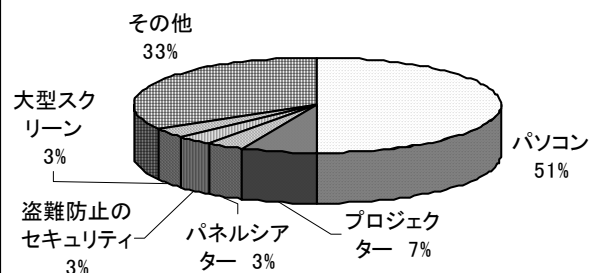
[問8・9の考察]

教師用図書についての利用調査では、72%の教師が教師用図書を利用していることがわかった。問9は〈いいえ〉と回答した人のみを行った。理由としては、「利用の仕方がわからない」が5人と最多で、「その他」では、〈時間がない〉〈所在場所がわからない〉という回答があった。年度初めと途中人事で来た教師には図書館の利用案内を行うと共に、教師用図書についての説明を繰り返し行う必要があると考える。

問10 図書館で備えてほしい備品はありますか



問11 備えてほしい備品は何ですか



[問10・11の考察]

図書館で学習活動をスムーズに行うためには、どのような環境が望まれているのかを考えるために行った。その他には、「今は思い浮かばない」という回答が多かった。

実際に備えてほしい備品については、自由記述で回答してもらった。備品についての説明が十分でなかった為に、大型紙芝居・絵本や教師用雑誌・教材関連図書・図鑑など消耗品的なものが多数あがった。「その他」の項目には、ワークスペースやDVD、資料が閲覧・検索できる環境など備品と関係ない要望をまとめた。備品としては、コンピュータを利用した図書貸出しシステムとしてのパソコンとそれにかかわる周辺機器の要望が多かった。

以上のことから、教師も図書館システムの電算化を望んでいることがわかる。

② 図書館利用実態調査（児童）

・調査の目的

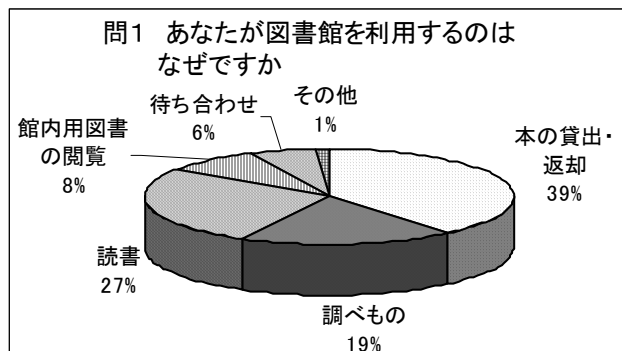
調べ学習に対する意識調査をし、本研究に役立てる。

調査対象：山内小学校4年2組 40名

調査月日：平成19年11月27日

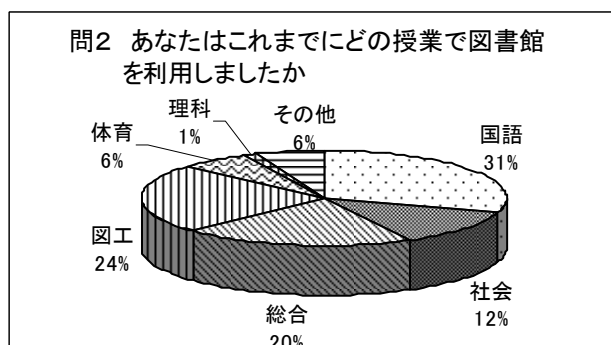
・アンケート質問事項 結果と考察

（問3以外は複数回答を可として行った）



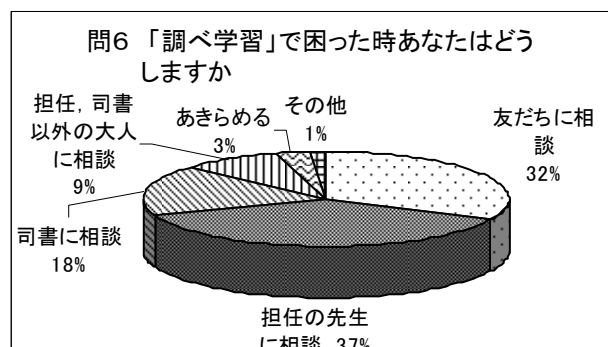
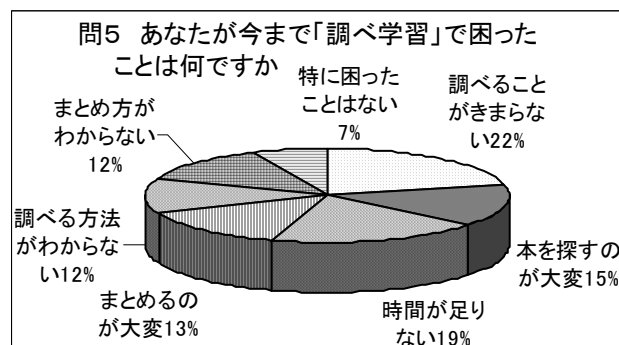
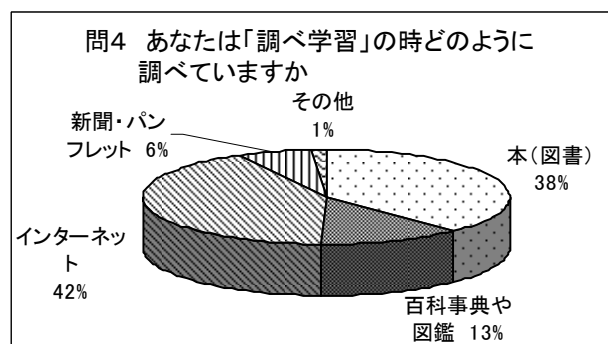
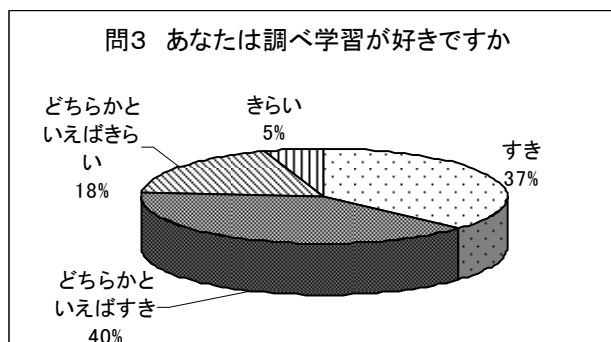
[問1の考察]

最も多いのが「本の貸出・返却」で39%である。「読書」,「館内用図書の閲覧（まんがや図鑑など）」の「読書センター」的な役割を合わせると74%を占める。「調べものをするため」は19%と少なく, 図書館を「学習・情報センター」として認知されるように意識を変えていく必要がある。



[問2の考察]

「国語」が多いと予測はしていたが,「図工」での利用が24%もあるのは意外である。アンケート実施の前に図工の課題について図書館で調べさせたことからこのような結果が出たと考えられる。「その他」についてはほとんどがクラブ活動時間での利用であった。あらゆる教科で図書館が活用できると考えられる。



[問3・4・5・6の考察]

調べ学習に対する意識を調査した。77%の児童が調べ学習に対して肯定的である。学年に応じた資料収集と検索方法の指導を系統的に行うことにより, 現在否定的である児童の変容が予測される。調べるための手立てとしては, 図書やインターネットで90%を超える。それぞれの情報の特性に合った調べ学習ができるような配慮が必要である。しかし, 百科事典や図鑑などの参考図書で調べる割合が13%と低いので, 参考図書の活用方法を身につけさせる手立てが必要である。

問5では, テーマ設定に難しさを感じる児童が22%もいる。これは学習課題を十分に把握していないことに起因すると考えられる。これらの児童に対してはキーワードとなる語句の提示

やブックトークなどを行うことにより、テーマの明確化が図れるであろう。また、困ったことについては、図書館で「調べ学習の進め方」「発表・まとめ方」ができる図書資料の紹介、検索能力を高める支援などを行うことで解決できるであろう。

問6では相談する相手が「担任」「友だち」「司書」の順になっているが、「司書に相談する」の18%の枠を広げるには、図書館が「児童の調べ学習」について積極的に支援し、図書資料にとどまらないあらゆる情報が引き出せるところ、さらに相談できる環境づくりが大切である。

2 研究内容2

(1) 教師への支援の方法

教師への支援、働きかけを展開していく上で大切なことは、個々の教師が学習指導を行う上で、どんな支援を学校図書館に期待しているかを教師の立場で考えてみることである。実際の教師への支援活動は、教師からの情報要求や質問に対して、図書館が全力をあげて、それに応えるというレファレンスサービスが基本である。それを繰り返すなかで、教師の学校図書館に対する信頼が高まるであろう。

なお、具体的な支援としては、次のような事が挙げられる。

① 教科に関連した資料リストの作成

(資料1 参照)

単元に沿った資料リストとなる為に、年間指導計画や教科書の指導書を参考にして作成した。資料リストには、書名、著者名、発行所などの書誌的事項だけでなく、資料を探す手がかりになる請求記号や、内容に関する簡単な説明、インターネットのアドレス等も記入すると一層役立ち効果的である。また、資料リストを作成することにより、教師が図書館の資料を把握することができ、資料を活用することで、図書館の利活用につながると考えられる。さらに司書からは、この資料リストを使って活用することで多様な支援ができる。

② 教科に役立つパスファインダーの作成

(資料2 参照)

パスファインダーとは、「特定のトピック(主題)に関連する資料の探し方をまとめた1枚の印刷物(リーフレット)」でインフォメーションガイド、トロピカルガイドとも呼ばれている。特定の単元に絞ったパスファインダーを作成し、教師に配布することで、授業への支援に役立つものとする。また、示された方法に従って自分の力で必要な資料・情報を獲得し、情報検索の方法を習得できるという特性もある為、パスファインダーは、「主体的な学習の育成」や「メディア活用能力の育成」を掲げた利用指導の目的にかなった情報支援サービスであるといえる。体系的な利用指導のもとで計画的に使われることによって、メディア活用能力の向上を図ることが可能である。

★ パスファインダー ★

テーマ 「言葉遊びの世界」 (4年国語)

パスファインダーとは、あるトピックを調べるために役立つ資料を、分かりやすく紹介した一枚のちらしです。分からないことがあったら図書館で調べてみるのがいい。

手がかりとなるキーワード

しゃべり・国文・なぞなぞ・クロスワードパズル・早口言葉・しりとり

1. 参考図書(テーマの理解)

テーマの大まかな情報や最新情報を、参考図書(辞書・事典・用語集など)を使って確認してみよう。手がかりとなるキーワードを使い、資料についている索引を使うのが近道です。

書名	分類
『総合百科事典 ポプラディア』	030本
国語辞典	

2. 図書

図書は「日本十進分類法(NDC)」で分類された、数字の順番に並んであります。

分類	内容	書名
810ナ	言葉遊び	おもしろ言葉がいっぱい 1～3巻
9ナ	絵本	(1)こそあど言葉・国文ほか (2)ことわざ・名書・難読漢字ほか
810カ	なぞなぞ	これはのみのびに・谷川 俊太郎
911ナ	詩	なぞなぞあそびうた・角野 栄子
911タ	詩	ことばあそびうた・谷川 俊太郎
8タ	絵本	また ことばあそびうた・谷川 俊太郎
810	早口言葉	ことばあそびえほん(あいうえおとせい)
911	詩	みんなでワイワイ早口ことば(全3巻)
8ナ	言葉遊び	小学生・詩のくにへ10いるかいなか
8ナ	言葉遊び	わはは！ことばあそびブック・中川 ひろたか
8コ	絵本	(ブルドックブル・メルクルーム・おひるのアヒル・こんにちわワニ)
8コ	絵本	ことばあそび・五味 太郎

3. 雑誌・その他

媒体	内容	書名
雑誌	クロスワードパズル	月刊 ニュースがわかる
インターネット	言葉遊びの意味	http://www.sansendo.net/main/words/tyakka/
インターネット	言葉遊び	「Web 言葉遊び」(「Yahoo! きっず」より)
インターネット	言葉遊び	http://www.ale-net.com/hpss/soku/word/
インターネット	言葉遊び	「言葉遊びの世界にようこそ」(「Yahoo! きっず」より)

③ 学習、その他テーマに関連した課題コーナーの設置

課題コーナーは図書館の中に設けるだけでなく、学習の行われる教室に関連資料を一括して貸出し、教室内や学年広場で利用できるようにする「団体貸出」も効果的である。



④ ブックトークの支援

一般的にブックトークとは、本に興味を持たせることを目的としている。一つのテーマに沿って紹介された数冊の本に興味を持った子どもたちが、主体的・積極的に本に出会うようになることを意図する手法である。「行事関連」や「季節」など、テーマを決めるのは話し手の裁量である。

しかし、授業で行われるブックトークは、学習内容をより深め発展させる目的を持っており、授業の目的達成が期待される。子どもが課題に取り組むときや、調べ学習の資料として活用するとき等の支援として有効である。また、司書だけでなく教師もブックトークができるよう、小道具の作成とブックトークのシナリオを準備して支援することができる。

⑤ メディアの活用方法についての支援

司書の専門性を活かした資料紹介・参考図書の利用方法や図書館利用指導で授業に関わる。司書・教師の連携により教科学習の一環として行われるため、児童生徒にとって抵抗

感がなく、指導の効果も定着しやすい。また、図書館利用が授業と結びついている為、図書館に対する理解も高まることが期待される。

図書館の本で調べる方法をマスターしよう！

年 組 名前 _____

1・図書館の本の分け方 分類と本の種類を線でつなぎましょう。

色	分類	本の種類
茶色	0	社会
黄緑色	1	文学
黄色	2	絵本
赤色	3	新書
緑色	4	児童書
灰色	5	ことば
紫色	6	産業
白色	7	地理
ピンク	8	工業
緑色	9	自然科学
	E	えほん

2. 国語辞典・漢字辞典について
 国語辞典は、ことばそのものの意味を調べる時に使います。
 漢字辞典は、漢字の読み方・意味・使い方を調べる時に使います。

3・百科事典について
 いろいろな事柄について調べられます。五十音順百科事典と教科別百科事典があります。
 百科事典を引くときは、まず中の頁(せ)をみて、次に小口のフをみて、その次に
 はをみて探すと、はやく引けます。

★調べてみよう
 (例)ドラえもんは何巻の何ページにありましたか？
 国語辞典 _____ 漢字辞典 _____ 百科事典 _____ ページ _____

4・その他の事典・辞典
 人名事典・偉人(えらい人)や歴史上の人物を調べたいとき
 ことわざ辞典・

5. 図鑑
 植物・昆虫(こんちゅう)などそれぞれの種類の形・持ちようなどを調べることができます。
 目次・索引(さくいん)の使い方について

⑥ 市立図書館や他機関からの協力貸出に対応

教師からのレファレンスに対応して、自館での資料提供が困難な場合、市立図書館から「相互貸借」システムで資料を準備することにより、授業の支援に役立つ。

さらに、市内学校図書館、他機関からも資料の収集を行い、提供する方法もある。

Ⅶ 支援の実際

1 検証授業

総合的な学習の時間活動案

平成 19 年 12 月 14 日(金) 3 校時
沖縄市立山内小学校 4 年 2 組
男子 25 名 女子 15 名 計 40 名
授業者 T1 津嘉山 尚子
司書 T2 大山 ひろ子

(1) 単元名 伝え合おう，分かり合おう

(2) 単元目標

- ① 障がいのある人や高齢者の生活に関心を持ち，自ら課題を見つけ，それを調べる方法やまとめ方を考えながら学習することができる。
- ② 課題に応じて体験やインタビュー，図書資料やインターネット等での調べ学習ができ，伝えたい内容をわかりやすくまとめることができる。
- ③ 資料で調べたことや体験から学んだことを工夫して発表することができる。
- ④ 学習したことから他者の立場を思いやり，互いに支え合う心の大切さやこれまでの自分の生活を見直し，自分にできることは何かを考え実践することができる。

(3) 単元について

① 教材観

子どもたちは，これから到来する高齢化社会を担って生きていく。その子どもたちにとって身近な福祉問題に関心をもつことや主体的に関わろうとする意識をもたせることは大変重要であると考えます。本単元では，子どもたちが高齢者だけでなく，障がいのある人など自分自身と立場や考え方が異なる人と，共に生きていくという考えをしっかりとらせたい。また，学年テーマでもある「今，自分にできること」は何かを考えながら体験学習や調べ学習を進めることができるようにしたい。

② 児童観

ア 授業者の視点から

子どもたちは，今まで障がいのある人に関わる学習として，昨年度の福祉講話で義足の島袋さんのお話を聞いた経験がある。しかし，実際の生活の中では，障がいのある人との交流の機会がほとんどなく，高齢の家族と同居している子も少ない。したがって，そうした方々の立場や思いを想像することは非常に困難なことだといえる。事前アンケートの結果から，身体の不自由な人を見かけたことがある子は半数以上いるが，見かけるだけでなく交流を持ったことのある子はほとんどなく，障がいのある人と全く会ったことがないと答えた子が 16 名いる。全員が「何か手助けしてあげたい。」と答えたがその具体的な方法を知らないのが現状である。また，これまで総合的な学習の時

間では、見学やインタビュー、インターネットでの調べ学習に多く取り組んできたため、図書資料からの調べ学習にはあまり慣れていない。

イ 司書の視点から

4 学年の子どもたちは本好きで、読書貸出冊数が多く、読み聞かせの時間も静かにお話を楽しむ姿勢がある。しかし、授業に関わる調べ学習においての図書館活用度は低い。前単元の総合的な学習の時間「見直そう、わたしたちの町」では、「身近な環境問題について調べ、自分たちの生活のあり方を考える」とあるが、図書館を活用した調べ学習はあまりみられなかった。そこで、今回総合的な学習の時間において、図書館で調べ学習を行いブックトークで本を紹介することにより、図書館を読書だけでなく、調べ学習でも日常的に活用できるようになってほしい。

③ 指導観

ア 教師の指導観

本単元は、国語資料「手と心で読む」の学習の発展として、福祉体験や活動をさらに広げ、総合的に展開しようとしたものである。教材文をきっかけにして生まれた興味・関心をもとに、自ら課題を見つけ、調べ、まとめ、伝え合うという流れで学習を進める。また、道徳とも相互関連を図りながら、子どもたちに身近な福祉の問題を幅広く捉えさせ「共に生きていく仲間として何ができるか」という視点をもたせたい。体験活動や障がいのある人との交流を通して、様々な立場の人の気持ちを考え、自分自身の生活や生き方について振り返り、小さなことからでも自分にできることを具現化し、実践することによって他人の幸せに役立つ喜びを実感させたい。

イ 司書の支援観

本単元での調べる過程において、子どもたちに図書館で図書資料から調べる方法を身につけさせたい。そして図書館の資料で調べたいという意欲を引き出すために、ブックトークを行い学習課題を見い出すことができるような支援をしたい。また、「伝え合い」の仕方（資料の探し方、まとめ方、発表の仕方）の資料を紹介して支援をする。さらに、他機関からの資料を貸出することにより、図書館の学習情報センターとしての機能を発揮させたい。

(4) 活動計画（全 25 時間）

過 程	学習活動	教師の支援
つかむ (2)	1. 国語科「手と心で読む」を学習して、感想を話し合う。	・作者の考え方や、親子の生き方についての感想を話し合えるようにする。
体験する (3)	2. 障がいのある人について知っていることを話し合う。 3. 身体に障がいのある方のお話を聴く。 4. 聴覚に障がいのある方と交流する。 5. アイマスク体験をする。	・それぞれの経験を自由に話し合うことができるようにする。 ・関係機関へ講師の招聘をする。 ・二人組でアイマスクをし、声をかけたり支え合ったりできるようにする。
まとめる (2)	6～7. 体験を通して感じたことや思ったことをワークシートにまとめる。	・体験の前後の自分の考えや感じたことが書けるように助言する。

調べる (8) (本時)	8. 図書館の本で調べる方法を学習する。 (TT) 9. 自分の学習課題を見つける。 (TT) 10. 学習計画を立てる。 ・グループ編成 (TT)	・司書と協力して、資料の検索方法について学習させる。 ・これまでの体験学習や司書のブックトーク・図書資料から課題を見つけられるように助言する。 ・調べ学習のすすめ方について助言し、関係資料の紹介をする。
まとめる (6)	11～15. 調査活動をする。 高齢者 障害者スポーツ 車いす 点字 手話 盲導犬 福祉施設 等 16～20. 調べたことをまとめる。 新聞 紙芝居 ペープサート 劇 歌 等 21. 発表会の計画を立てる。	・それぞれの課題を追求できるように司書と連携して、図書資料の準備やビデオなどの映像資料の準備、関係機関との連絡等を行う。 ・わかりやすく伝えるために、目的にあったまとめ方ができるよう助言する。 ・準備することなどについて、具体的に考えることができるようにする。
発表する (3)	22. グループごとに練習や準備をする。 23～24. 『伝え合い』の会を開く。	・まとめ方や声の大きさだけでなく、聴き手を意識して発表できるよう助言する。 ・グループ全員が発表に関われるように配慮し、発表の仕方、聴き方の助言をする。
生かす (1)	25. これまでの学習を振り返り、まとめる。	・学習して学んだことや考え方の変化についてとらえさせ、今後の生活に生かせるよう助言する。

(5) 本時の学習 (9/25)

① 本時の目標

自分の調べたい学習課題を見つけることができる。

② 授業仮説

調べ学習の課題を決める場面において、興味関心を引き出すブックトークを工夫することによって、高齢者や障がいのある人への関心が高まり意欲的に学習課題を見つけることができるであろう。

③ 展開

	学習活動	司書の支援と留意点	教師の支援と留意点
導入 (5分)	1. これまでの学習を振り返る。 2. 課題を確認する。 調べたい課題を見つけよう。		○これまでの体験や学習を想起させる。 ○本時のめあてを提示し、確認させる。

展 開 (3 0 分)	3. 司書のブックトークを聴く。	○「高齢者や障がいのある人について考えよう」をテーマにブックトークを行う。 ・ブックトークの説明をする。 ・12月9日（障害者の日）の説明をする。	
	ブックトークシナリオは別紙・授業の支援・2参照		
	・体の不自由な人についての本を知る。	・車いすマラソンの話をする。 ・パラリンピックの本の紹介をする。 ・昨年講演に来て下さった「島袋さん」のことを話す。	
	・高齢化社会についての本を知る。	・高齢者やユニバーサルデザインについての本を紹介する。	
	・耳の不自由な人についての本を知る。（手話の本・手話ソング）	・手話でクイズを出す。 ・昨年の音楽朝会での手話ソングにふれる。	
	・目の不自由な人についての本を知る。 ・点字の本を見る。	・点字クイズをする。 ・かな点字50音表を貼る。 ・点字図書館の話をする。 ・活字と点字の本のちがいを比べる。	
	・「どんなかんじかなあ」の本を聴く。 ・学校図書館が市立図書館へ団体貸出できることを知る。	・「どんなかんじかなあ」の本の読み聞かせをする。 ・市立図書館から団体貸出しをし、資料が充実していることを伝える。	
まとめ (10分)	4. 調べたい課題についての本を探す。	○課題についての本が見つけれない児童に対して助言する。	○課題が見つけれない児童に対して助言する。
	5. 今日の学習でわかったことや思ったことをワークシートに記入して発表する。		○次時の予告をする。 ・調べ学習の進め方や発表仕方について学習することを伝える。

④ 評価

ブックトークを聴いて、学習への意欲をもち、調べる課題を見つけることができたか。

2 具体的な支援の資料

授業の支援 1 (8/25)

- (1) 日時：2007年12月12日（水）4校時
- (2) 支援のねらい：調べ学習を進めるにあたり，本の分類や参考図書の活用を理解させる。
- (3) 支援仮説：本の分類や百科事典の使い方を知ることによって，図書で調べ学習ができるようになるであろう。
- (4) 支援過程

	学習活動	教師の支援
導入 (5)	今日のねらいを確認する。 図書館の本で調べる方法をマスターしよう	- 本時のめあてを提示し，確認させる。(T1) - アンケートの結果から百科事典や図鑑の活用が少ないことをあげ，今日の授業のねらいとする。
展開 (30)	- 参考図書の活用を学ぶ。 - ワークシートの記入。 「図書館の本の分類と，百科事典の引き方を学ぶ」 写真	- ワークシートに沿って，図書館の本の分類の説明をする。(T2) ○日本十進分類法(NDC)と図書記号についての説明 ○百科事典の引き方 ○辞典・事典の種類・図鑑について 写真 写真
	図書館クイズで実際に調べる。(グループで協力し合って資料を探す) 写真	- グループに1枚，クイズ用紙を配る。(T1) - 調べ方がわからない児童の手助けをする。(T1・T2) 写真 写真
まとめ (10)	- 今日の学習でわかったことを，感想カードに記入する。 - 次時の学習予定を知る。	- 本時の学習を振り返り，図書館の資料の活用方法を確認する。(T1) - これまでの総合的な学習の時間で学んだことから，調べたい課題を見つけることを伝える。(T1)

(5) 評価

百科事典の引き方や本の分類が分かり，本を探すことができたか。

授業の支援2 本時（9/25）

- (1) 日時：2007年12月14日（金）3校時
- (2) 支援のねらい：3時間の体験学習に関わる本を中心に、ブックトークを行うことにより、障がいのある人への関心が高まり、意欲的に学習課題を見い出すことができるようにする。
- (3) 支援仮説：興味関心を引き出すブックトークを工夫することにより、高齢者や障がいのある人への関心が高まり意欲的に学習課題を見つけることができるであろう。
- (4) 支援過程（ブックトーク・25分）

紹介する本	ブックトークシナリオ
	・ブックトークの説明をする。 ・12月9日は何の日かわかりますか？この日は障がい者の日です。（宜野湾市で行われた車いすマラソン大会の話をし、前回お話に来て下さった山入端さんが載っている新聞を見せ、夫婦で車いすマラソン大会に出場したことを伝える。）
・体の不自由な人についての本の紹介をする。 ①「知って、学んで、いっしょに体験 みんなで楽しむ！障害者スポーツ1パラリンピックで活躍する人たち（夏季編）」/学研 ②「義足のランナー」島袋勉・著 /文芸社	このように、障がいがありながらもスポーツにがんばっている人たちがいます。 ①この本にはパラリンピックで活躍した人たちのことが書かれています。「パラリンピック」って何だかわかりますか？（反応をみる）どんなスポーツがあるのか本を見せながらいくつか説明する。 ②この本の表紙を見せて誰かを考えさせる。島袋さんはある日突然の事故で両足を切断することになりましたが、義足をつけて、ホノルルマラソンにも挑戦して完走しました。島袋さんの挑戦はこれで終わりではなく今年の8月、富士山の登山にも挑戦しました。（8月8日の沖縄タイムスの新聞を見せる。）
・高齢化社会についての本の紹介をする ③「高齢社会がわかる本1、『年をとる』ってどんなこと？／くもん出版 ④ユニバーサルデザイン・2 暮らしの中のユニバーサルデザイン／あかね書房	身近にも少し耳が遠くなって聞こえにくくなった人とか、目が見えにくくなった人とか、あまり歩けなくなってしまった人はいないか聞く。（おじいちゃん・おばあちゃん達のことにつなげる。） ③この本は年を取ることでからだがかんたん変化していくことや、高齢者を助けるいろいろな道具について紹介されています。高齢者のことを理解したい、何か手助けしたいと思う人はこの本を読んで下さい。 ④「ユニバーサルデザイン」という言葉がわかる人？（反応をみる）最近では障がいのあるなしや年齢に関わらず、誰にとっても生活しやすい環境や、道具や物を使う人の立場に立って作り出そうという考え方です。本をめくりながら《カスタネット型のはさみ》《左きき用のはさみ》《時計》のページをみせて説明する。

・手話の本の紹介をする。 ⑤手話の本1 井崎 哲也 監修／あすなろ書房 ⑥「あいさつをしてみよう」 丸山浩路・山口万里子・著 ／学研 ⑦「はじめての手話ソング」 こどもくらぶ・編・著／岩 崎書店	それでは、ここで手話クイズをします。まずは、手話体験で習った復習から。わかった人は手をあげて答えて下さい。《拍手》《こんにちは》《本を読む》《いぬ》など。 ⑤や⑥の本に載っていると説明してそのページをみせる。 昨年音楽朝会で行った《翼をください》の手話ソングに触れて⑦の本の紹介をする。手話ソングに興味のある人はこの本でチャレンジしてみてください。
・点字や盲導犬の本の紹介する。 ⑧「点字どうぶつえん」同友館編集部・編／同友館 ⑨「ベルナの目はななえさんの目」郡司ななえ・織茂恭子・作／童心社	（国語での学習を振り返って）次に目の不自由な人は、どのようにして字を読んだり、自分の思っていることを書いたりするのでしょうか？（質問する） そうですね。点字を使います。ここでクイズをします。《あひる》と書いてある点字カードをボードに貼って何と書いてあるのか当てさせる。わからなければ、点字五十音表をボードに貼る。 ⑧この本には点字の読み方が詳しく書いてあります。点字は、6つの点の組み合わせでできていますがその方法（規則）がわかると、読めるようになります。本を何ページか見せる。 次はこの本です。 ⑨の本を何ページか読んでから、盲導犬ベルナがななえさんの生活を支えていることを話す。
・点字の本を見せる。 ⑩レーナ・マリア物語」／金の星社 （点字版「レーナ・マリア物語」の本と点字版「中学校国語の教科書」	⑩この本の説明をしてから、同じ本の点字の本を見せる。 沖縄にも点字図書館があるのを知っていた人？（点字図書館から特別に借りてきたとの説明をする。） 他にも、中学校国語の教科書の点字本を見せる。
⑪「どんなかんじかなあ」中山千夏・文／自由国民社 ・市立図書館の「団体貸出」の話をする。	では、最後にこの本を読みます。 ⑪の本を最後まで読み聞かせする。 このような本から、高齢者や障がいのある人たちにどのように接すれば良いか、また自分たちにできることはないか調べてみて下さいね。今日はみなさんの周りにもたくさんの本をおいていますが、市立図書館からもたくさんの本を借りてきています。「団体貸出」といって一ヶ月間五十冊まで本をかりることができます。みなさんに多くのことを調べてほしいので、是非調べ学習に活用して下さい。これでブックトークを終わります。

(5) 評価

学習課題を見い出すにあたってブックトークが役に立ったか。

授業の支援 3 (10/25)

- (1) 日時：2007年12月19日（水）3校時
- (2) 支援のねらい：調べ学習をどのように進めていくか、学習計画を立てることができる。
- (3) 支援仮説：調べ学習の進め方についての本を紹介することにより、発表までの見通しが立てられるであろう。
- (4) 支援過程

	学習活動	教師の支援
導入 (5)	今日のねらいを確認する。 調べ学習の進め方を知り、 学習計画を立てよう。	- 本時のめあてを提示し、確認させる。(T1) - 掲示物で「学習のすすめ方」を順序よく説明する。
展開 1 (10)	ブックトークを聴く。	調べ学習の進め方や発表についての方法についてブックトークを行う。(T2) 紹介する本 はじめての発表・表現アイディア集／学研 1 掲示物や展示品を使って発表・表現 2 さらに楽しく演じて発表・表現 4 発表の手順とテーマ発見 調べ学習に役立つ社会科資料のよみかた・つくり方／ポプラ社 2 地図 4 文章・お話
展開 2 (25)	- グループを編成する。 - 学習計画を立てる。 学習の計画を立てよう 学 習 計 画 表 1. 学習の進め方（流れ） <pre> 調べ学習の進め方 ↓ 1. 調べたいこと ↓ 2. 調べ方 ↓ 3. 調べたこと ↓ 4. 発表 </pre> 2. テーマ 3. 調べたいこと 4. 調べ方 5. 調べたこと 6. 発表	- グループ編成ができるようにアドバイスをする。(T1) - 学習計画が立てられないグループに対してアドバイスをする。(T1・T2) 写真 写真
まとめ (5)	- 今日の学習でわかったことをカードに記入する。 - 次時の学習予定を知る。	次回は調査活動をすることを伝える。(T1)

- (5) 評価
 - 学習計画が立てられたか。

公開検証授業

ブックトークの様子



写真

写真

写真

この本はどうですか？

写真

どの本で調べようかなあ～

写真

写真

今日の学習をふり返ろう

今日の学習をふり返ろう

4 年 組 番名前

今日のめあて 「調べたい課題をみつけよう」

私が調べたいことは
『しょうがい者のスポーツ』です。

★課題を調べるための本を探してみよう。

分類番号	書 名 (本の名前)
78	しょうがい者スポーツ③
78	しょうがい者スポーツ①

1. ブックトークは役に立ちましたか?
1. はい 2. いいえ
2. 自分の課題が図書館でみつけれましたか?
1. はい 2. いいえ
3. 他にも調べたいと思うことがあったら、書いてください。
ユニバーサルデザイン

★今日の学習でわかったことや思ったことを書いてください。
ブックトークのおかげで、しょうがい者のことがよくわかりました。

今日の学習をふり返ろう

4 年 組 番名前

今日のめあて 「調べたい課題をみつけよう」

私が調べたいことは
『手話と便利な道具』です。

★課題を調べるための本を探してみよう。

分類番号	書 名 (本の名前)
360	ユニバーサルデザインってなに?
370	だいすき

1. ブックトークは役に立ちましたか?
1. はい 2. いいえ
2. 自分の課題が図書館でみつけれましたか?
1. はい 2. いいえ
3. 他にも調べたいと思うことがあったら、書いてください。

★今日の学習でわかったことや思ったことを書いてください。
しょうがいの人が不便なことはまだあるから
かいほしてほしいです。

今日の学習をふり返ろう

4 年 組 番名前

今日のめあて 「調べたい課題をみつけよう」

私が調べたいことは
『点字について』です。

★課題を調べるための本を探してみよう。

分類番号	書 名 (本の名前)
370	点字のひみつ
370	ペリアフリーをめざして

1. ブックトークは役に立ちましたか?
1. はい 2. いいえ
2. 自分の課題が図書館でみつけれましたか?
1. はい 2. いいえ
3. 他にも調べたいと思うことがあったら、書いてください。

★今日の学習でわかったことや思ったことを書いてください。
わたしは、図書館の先生のお話を聞いて、こんなにたくさんの方が、耳や目の不自由な人なんだなと思いました。不自由な人を見つけたら、きっとからは、助けたいと思います。

今日の学習をふり返ろう

4 年 組 番名前

今日のめあて 「調べたい課題をみつけよう」

私が調べたいことは
『目の不自由な人のこと』です。

★課題を調べるための本を探してみよう。

分類番号	書 名 (本の名前)
370	ハニーが盲導犬になるまで
280	ブライユ

1. ブックトークは役に立ちましたか?
1. はい 2. いいえ
2. 自分の課題が図書館でみつけれましたか?
1. はい 2. いいえ
3. 他にも調べたいと思うことがあったら、書いてください。

★今日の学習でわかったことや思ったことを書いてください。
おおやま先生の話しが、よくわかりましたので、本が
さかしやすかったです。

「今日の学習をふり返ろう」のカードから、児童全員が図書資料で調べたい課題を見つけ、「ブックトークが役に立った」と答えていた。そして、「ブックトークがわかりやすかった」「障がい者に対する理解が深まった」「障がい者に対して手助けしたい」などの感想が多く寄せられた。

3 授業の分析

(1) 研究協議会から

- ・本を1か所に集め、平置きにしたことで子どもの読書意欲が高まり良かった。紹介した本が児童の発達段階に合っていてわかりやすい内容だった。
- ・課題が、その分類から探せる手立てがあると良い。司書にわからないことが聞ける雰囲気づくりが良かった。
- ・担任の先生との調整が大事。司書の役割と担任の役割が明確にされていたのが良かった。
- ・学習の興味をさらに高め、追究するのが図書館である。その図書館の環境の場づくりができていた。
- ・司書は図書に対しての専門知識を持っているので、それを生かさない手はない。教師への支援・児童への支援ということなので、司書をこのように活用してほしいという見本になるような授業だった。
- ・ブックトークの内容も良くわかりやすかった。新聞からの資料もよかった。点字クイズ・手話クイズを用意していたのは、子どもの集中力を持続させるための良い工夫だった。
- ・ブックトークの場面でクイズ等の工夫があったものの、司書から子どもといった一方通行の時間が長かった。次回は子どもの興味・関心を考え、感想を引き出しながらやると良い。

(2) 授業仮説の考察

ブックトークに関係する「福祉関係の本」を畳の間に全部集めて平置きにし、市立図書館から本を借り十分な冊数を準備したことで、児童がその後の調べたい課題を意欲的に見つけることができた。また、他機関から資料提供してもらった「障害者スポーツの本」は特に児童の関心が高く学ぶ意欲につながっていた。事前に講演会で車いすマラソンのお話を聞いて興味があったためだと考えられる。「ユニバーサルデザイン」という言葉も児童にとっては耳慣れない新しい言葉であり関心が高かった。3時間の体験学習にかかわる本を中

心にブックトークを行ったことが、総合的な学習の時間の授業の流れに沿っていて理解しやすかったものと考えられる。

授業で使用する図書は、なかなか手に取ってもらえないが、ブックトークによる紹介で、全員が本を手に取り読んでいたことから、ブックトークは効果的であった。

Ⅷ 研究の結果と考察

本研究はテーマを「学習・情報センター」としての学校図書館の在り方～第4学年における教師への支援を通して～」と設定し、基本仮説を「教師への支援を行うことにより、図書館の利活用が促され、子どもたちの読書環境が充実するであろう。」とし、研究を進めてきた。さらに、基本仮説を具現化した2つの具体仮説をたて、理論研究や実態調査を行い、授業を実践してきた。そこで、2つの具体仮説を検証することにより本研究の結果と考察とする。

1 具体仮説1の検証

図書館教育に関する理論研究や図書館利用に関する実態調査を行い、分析することにより、これからの図書館運営の方向性が明確になるであろう。

アンケートの調査結果から、教師は全員が司書の支援を求めている、「調べ学習で図書館を活用する授業が必要である」と感じていることがわかった。また、司書の支援の方法についての調査結果から「資料リストの作成」が最も多く、続いて「資料の準備」、「ブックトーク」が多かった。

これらのことから、「資料リストの作成」などを通して授業への支援をすることが、図書館運営における「学習・情報センター」としての機能を活性化していく上で有効であった。

「利用できる時間が少ない」という調査結果からは、図書館の利用時間の見直しが必要であ

る。最近では、読書指導中でも、他学年の児童が調べるために入館してもいいという申し合わせをしている学校もある。その際、学校図書館でのマナーを、低学年からしっかりと身につけさせておくことが大切である。図書館は貸出・返却の手続きをしなければならない場所ではあるが、積極的に学年広場や学級への特別貸出を行うことにより、学校全体が図書館であるという発想が持てる。

図書館の運営には、まず司書と司書教諭が協力していかなければならないが、学校におけるすべての教育活動に関わる場所なので、教師全体が連携・協力する体制を築くことが大切である。

今回は、司書教諭が配置されている4学年において授業への関わりの中で、学年会に参加し、司書教諭（担任）と打ち合わせの時間を持つことで、連携をとることができた。司書と教師がお互いに情報を共有する事により、図書館が活性化された。

2 具体仮説2の検証

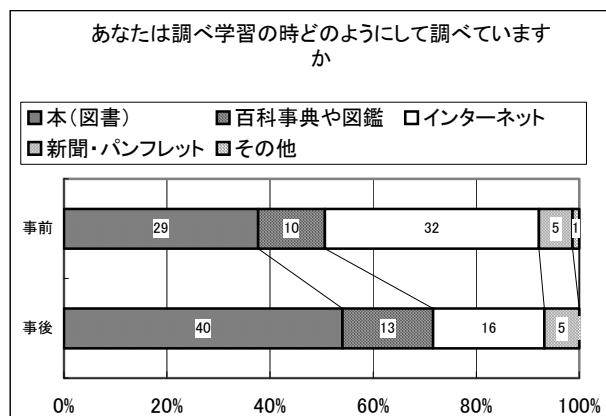
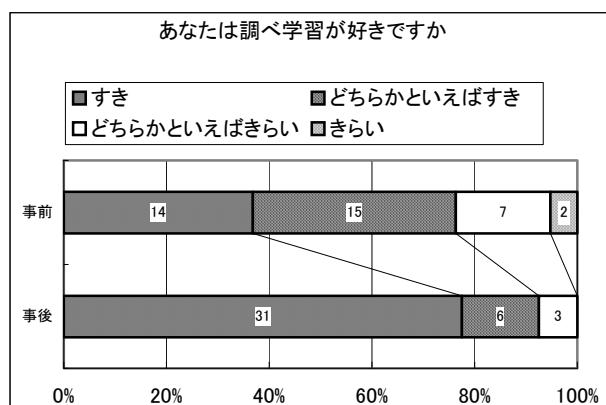
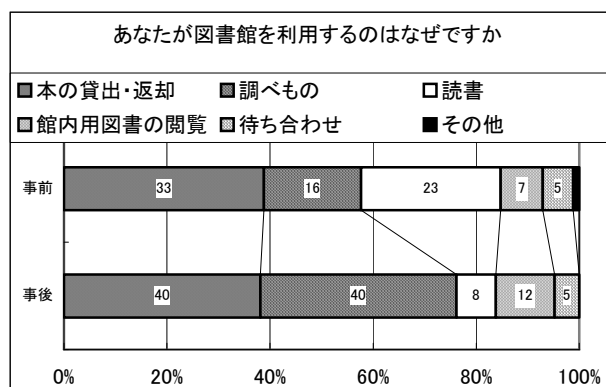
授業に関連する資料リストを作成することにより、教師への支援ができ「学習・情報センター」としての図書館活用が推進されるであろう。

今回は、アンケート調査の結果で図書館を活用する授業の多い国語・総合的な学習の時間・社会に関連する資料リストを作成した。本校の年間指導計画と教科書の指導書を参考にして、自館にある本、又は市立図書館にある本、図書館に揃えたい本を出版目録からリストアップしていった。

この資料リストをもとに、検証授業では教師への支援の方法の一つとして「ブックトーク」を行った。その後、授業を見学した他の教師からも支援依頼があり、授業で支援する機会が増えた。

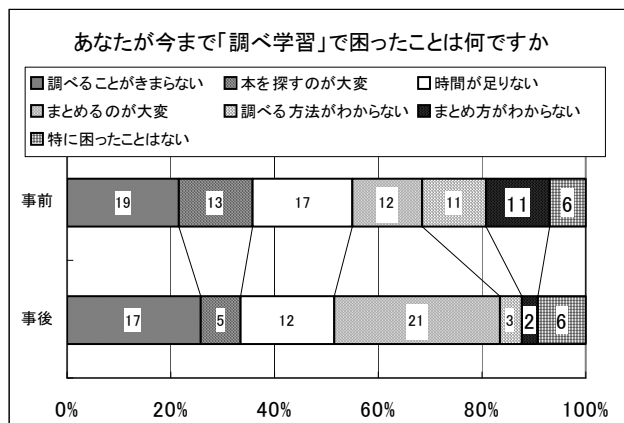
次に、検証授業を行った学級における事前・

事後のアンケート調査の結果を以下に述べる。

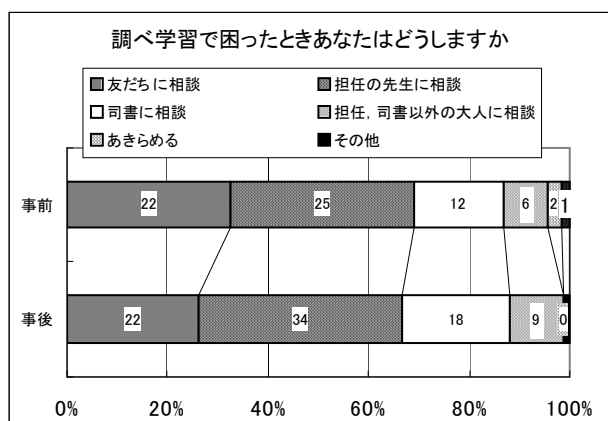


図書館の利用が「本の貸出・返却」とともに「調べものをするため」の割合が高くなっている。また、ほとんどの児童は調べ学習が「好き」または「どちらかといえば好き」と答えている。

調べ方としては「図書」や「百科事典や図鑑」から調べる方法の割合が高くなった。このことは「参考図書の活用方法」について授業に関わったり「協力貸出」で図書資料が充実したためだと考えられる。



「本を探すのが大変」「調べる方法がわからない」「まとめ方がわからない」の項目で減少した。このことは、「調べ学習の進め方」について授業に関わったことにより、児童が調べ方を習得しているものだと考えられる。そのことで改めて「まとめるのが大変」だということに気づき、その割合が増加したものだと考えられる。



「司書に相談」の割合が微増した。これからこの枠を広げていけるように授業に関わっていく必要がある。

授業後の4学年の教師へのアンケートから、「分類表を活用して本を探す子や、疑問に対して図書館を活用する子が増えた」との意見もあり、図書館が「学習・情報センター」としての活用が促されたものと考えられる。

Ⅸ 研究の成果と今後の課題

1 研究の成果

- ・教師へのアンケートを実施することによって、教師が図書館をどのように考えているのかが

わかった。

- ・司書教諭との協力により、検証授業を行う中で、どのような支援を望んでいるのかがわかった。
- ・資料リストを作成し、授業に関わったことで教師への支援ができ、「学習・情報センター」としての図書館活用が推進された。
- ・資料リストを作成したことで、教師が授業で必要としている資料が分かり、図書購入をする際に役立てることができる。

2 今後の課題

- ・司書・司書教諭・教師のさらなる連携の工夫。
- ・図書館利用時間の見直し。
- ・今回は、4学年の国語・社会・総合的な学習の時間の資料リストを作成したが、さらに全学年の資料リストの作成及び、沖縄市全体で共有できるようなネットワークの整備。
- ・「学習センター」としての位置づけはできたが、「情報センター」としての役割は図書資料からの検索しかできず、さらにインターネット等による検索機能を持つ環境整備が必要。

〈資料１ 資料リストの作成 一部抜粋〉

(1) 4 学年 総合的な学習の時間

テーマ:「伝え合おう、分かり合おう」(25時間)							
ねらい:福祉問題に関心を持ち、障がい者に対する理解を深め、自分に行えることを考える。							
◆山内小学校にある本				◆山内小学校にない本			
書名	著者	出版社	分類番号	書名	出版社	備考	
★目の不自由な方や点字について知る本							
障害を知る本⑥ 目の不自由な子どもたち	稲沢 潤子	大月書店	370シ	目の不自由な方の生活を知る本 朝子さんの一日	小学館	(購入予定)	
障害を理解しよう 目の不自由な人たち	ピーター・ホリト	小峰書店	370シ	目の不自由な人の心を知る本 朝子さんの点字ノート	小学館	(購入予定)	
ボランティアに役立つ初めてであう点字	黒崎 恵津子	岩崎書店	370ク	「障害」について考えよう 1指はまほ	ポプラ社	市立図書館	
①指から広がる世界 ②点字のこぼれ話				点字のひみつ (全5巻)	同友館	市立図書館	
③点字で学ぼう ④点字のひみつ				①点字ってなあに ②点字で遊ぼう ③点字を	18000+税		
⑤バリアフリーをめざして				④読む点字を書こう ⑤点訳ボランティア			
指で見る	トーマス・ベリーマン	偕成社	370へ	見たこともないものを作ろう!	偕成社		
みえないってどんなこと?	星川 ひろ子	岩崎書店	360ホ				
バリアフリーの本①目に障害のある子とい	竹内 恒之	偕成社	360ハ	点字の世界へようこそ (1~3巻)	汐文社	市立図書館	
バリアフリーの本②はじめての点字	石井 みどり	偕成社	360ハ	なれたらいいな 点訳ボランティア	同友館	市立図書館	
いっしょがよい障がいの絵本				(はじめてのボランティア・6)			
ぼくの耳ってすごいでしょ	嵐田 泰子	ポプラ社	370シ	これだけ点字 (はじめてのボランティア)	同友館	市立図書館	
夢をつなぐ 全盲の金メダリスト 河合純一	澤井 希代治	ひくまの出版	916サ	聞こえないってどんなこと	ゆまに書房	市立図書館	
雨のにおい 星の声	赤座 憲久	小峰書店	9 (絵本)	弱視の人に出会う本 (バリアフリーブッ	小学館	市立図書館	
バリアフリーえほん				見えないってどんなこと	ゆまに書房	市立図書館	
「さわってごらん、だれのかお」		岩崎書店	3ナ (絵本)				
「サワッテ ゴラン ナンノ ハナ?」		岩崎書店	3ナ (絵本)				
「さわってごらん いま なんじ?」		岩崎書店	3ナ (絵本)				
点字どうぶつえん	同友館編集部	同友館	9 (絵本)				
点字について話そう		汐文社	010テ				
ブライユ (伝記世界を変えた人々 (8))		偕成社	280フ				
月刊ポプラディア 2004年3月号 点字を学ぼう		ポプラ社	雑誌				
★耳の不自由な方や手話の本							
たのしくおぼえる手話	こどもくらぶ・編	岩崎書店	370コ	たのしくおぼえる手話 こどもくらぶ・編	岩崎書店		
③ゲームで手話 ④うたって手話				①手話でボランティア		市立図書館	
⑤おどって手話				②クイズで手話			
いっしょがよい障がいの絵本 ②おしゃべりだいすき	嶋田 泰子	ポプラ社	370シ	てはなそう・1~3 さとうけいこ	柏書房	市立図書館	
指1本からはじめる手話 (全6巻)		ポプラ社	370ユ	これだけ手話 (はじめてのボランティア)	同友館	市立図書館	
①あなんだ ②おはよう ③だいすき				なれたらいい手話ボランティア	同友館	市立図書館	
④あそぼう ⑤いっく ⑥うたおう				手話の基礎のキソしらんぷりじゃない絵本式	国立今人舎	市立図書館	
障害を知る本 ⑤耳の不自由な子どもたち	稲沢 潤子	大月書店	370シ	耳の不自由な人たち (障害を理解しよう・2)	小峰書店	市立図書館	
バリアフリーの本 ③耳に障害のある子といっしょに		偕成社	360ハ	あいうえお絵じてん手話・指文字入門		市立図書館	
④はじめての手話 (1) ⑤はじめての手話 (2)		偕成社	360ハ				
やってみよう! はじめての手話 (全6巻)		岩崎書店	370ヤ				
①手話をはじめよう ②指文字をおぼえよう			370ヤ				
③手話であそぼう ④はじめての手話ソング			370ヤ				
⑤手話で世界とともだち ⑥写真イラストでみる手話じてん			370ヤ				
手話の本1名詞 くらしの手話		あすなろ書房	370シ				
手話の本2名詞 みちかな手話		あすなろ書房	370シ				
手話の本 うきときもちの手話		あすなろ書房	370シ				
ふれあいの手話		学研	370フ				
①手話でうたおう ②手話でゲームをしよう			370フ				
③手話で詩をよもう ④手話で劇をしよう			370フ				
写真とイラストでひと目でわかる! こども手話じてん (教師用図書)		ポプラ社	378シ				
月刊ポプラディア 2007年3月 手話を学ぼう		ポプラ社	雑誌				
★ボランティア犬について(盲導犬・介助犬・聴導犬など)							
社会でかつやくするイヌたち (全4巻)				盲導犬が日本にうまれた日 国産盲導犬	偕成社	市立図書館	
(介助犬・盲導犬・聴導犬・訪問活動犬)	こどもくらぶ・編	鈴木出版	360コ	盲導犬アンドリュウの一日	ポトス出版	市立図書館	
はたらく犬①盲導犬・聴導犬		学研	360ハ	海をわたった盲導犬ロディ	理論社	市立図書館	
はたらく犬②介助犬・セラピー犬		学研	360ハ	みかんとボチ 捨て犬 聴導犬ものがたり	佼成出版社	市立図書館	
クイールはもうどう犬になった	秋元良平・写真	ひさかたチャイルド	9ア (絵本)	盲導犬ミントの子守歌	ポプラ社	市立図書館	
ベルナの目はななえさんの目	郡司ななえ・織茂節子	童心社	9 (絵本)	介助犬ターシャ	小学館	市立図書館	
ベルナのしっぽ	郡司ななえ	ナナコーポレート・コミュニケーション	916ク				
そしてベルナは星になった	郡司ななえ		916ク	聴導犬シンディ誕生物語	小学館	市立図書館	
ハニーが盲導犬になるまで		国土社	370ア	盲導犬グレイ誕生物語	小学館	市立図書館	
がんばれ! 盲導犬サンプ		講談社	916テ	盲導犬の訓練士	あかね書房	市立図書館	
ガンバレ! キミは盲導犬	長谷島 妙子	ポプラ社	916ハ	やってみないこんな仕事			
わたしは盲導犬訓練士	岡村 啓	旺文社	916オ				
幸せをはこぶ使者 (盲導犬からリタイア犬へ)	日野 多香子		916ヒ				
盲導犬フロックスとの旅	福沢 美和	偕成社	916フ				
盲導犬カンナ、わたしと走って	坂井 ひろ子	偕成社	916サ				
月刊ポプラディア 2004年3月 介助犬ってどんな犬		ポプラ社	雑誌				
★体が不自由ってどんなこと(車いす他)							
バリアフリーの本⑥からだに障害のある子といっしょに		偕成社	360ハ	体を動かさないうってどんなこと	ゆまに書房	市立図書館	
ドラえもん車いすの本		小学館	360キ	車いすの人たち (障害を理解しよう)	小峰書店	市立図書館	
五体満足	乙武洋匡	講談社	916オ	からだが不自由ってどんなこと・1	学研	市立図書館	
プレゼント	乙武洋匡		913オ	愛犬ブルースはわたしの手足		市立図書館	
車いすからこんにちは	嶋田 泰子		916シ				
車いすのマティアス	トーマス・ベリーマン	偕成社	370へ				
障害を知る本 ⑩からだの不自由な子どもたち		大月書店	370シ				
いっしょがよい障がいの絵本							
③ゆめ、ぜったいかなえるよ	嶋田 泰子	ポプラ社	370シ				
かぎりなくやさしい花々	星野富弘	偕成社	916ホ				
鈴の鳴る道	星野富弘	偕成社	916ホ				
あなたの手のひら	星野富弘	偕成社	916ホ				
速さのちがう時計	星野富弘	偕成社	916ホ				
いのちのハードル	木藤 潮香	エフエー出版	916キ				
義足のランナー	島袋 勉	文芸社	916シ				
どんなかんじかなあ	中山千夏	自由国民社	3ナ (絵本)				
さっちゃんのまほうのて			9 (絵本)				

(2) 4 学年 国語

月	単元名	教材名	時数	目 標	山内小にある図書(「書名」・著者・出版社・分類番号)	市立図書館・出版目録・その他・インターネット
四 月	つづけてみよう	つづけてみよう	1 (1話・聞)	(・関心のある話題を選び、クラスの友だちにスピーチする)	★今日のひとこと「いい言葉」「面白い言葉」など 「きょうはなんの日? 1~12月」ポプラ社380キ 「ものしり事典365日1~12月」小峰書店・380モ 「みんなのためのルールブック あたりまえだけどとても大切なこと」草思社・370	(インターネット) http://contents.kids.yahoo.co.jp/today/ (Yahoo!きつずり「今日は何の日」より) (市立図書館) 「子どもでもかんたん!」名言・格言がわかる本メイツ出版・159コ 「もっと勇気がわいてくる魔法の言葉」汐文社・159メ 「ともだち」谷川俊太郎著・玉川大学出版部・ 「はせがわくんきらいや」長谷川隼平著・ブッキング
	一本と出会う、友だち	三つの願い(物語)手紙を書く	10 (1話・聞1書3)	◎話の展開や登場人物の気持ちを読み取って、様子が表れるように声に出して読むことで、物語の世界を楽しむ。 ◎手紙の形式を知り、登場人物にあてた手紙を書く。	★「友だち」をキーワードとした本 「三つのお願い」ルシール=クリフトン・偕成社・9(絵本) 「あのときすぎになったよ」薫くみこ・教育画劇・9ク(絵本) ★「手紙の書き方」の本の紹介 「まちがいだらけの言葉づかい④手紙」(ポプラ社) 800マ 「ことばの使い方じてん1年生~6年生」(さえら書房) 810 「漢字大研究」(ポプラ社)811 「漢ビュ太君の漢字絵事典1~6年」偕成社・810シ 「漢字クイズ絵本1~6年」偕成社・810ハ 月刊ポプラディア2004年2月号 漢字大研究(雑誌) 漢字辞典	「手紙・はがきの書き方」TOSS著・タラント
	漢字の組み立て	漢字の組み立て	2 (書2)	◎漢字の偏旁冠脚について知り、漢字への興味を深める。	「漢字大研究」(ポプラ社)811 「漢ビュ太君の漢字絵事典1~6年」偕成社・810シ 「漢字クイズ絵本1~6年」偕成社・810ハ 月刊ポプラディア2004年2月号 漢字大研究(雑誌) 漢字辞典	
	漢字の組み立て	漢字の組み立て	2 (書2)	◎文章の構成についての知識を得、全体を展望しながら内容の大体をつかむ方法を知るとともに、咀嚼の役割や歯の健康保持について興味をもつ。	★からだについて調べよう 「なぜなぜ事典・1人と体」学研030オ 「わたしたちの体1・2巻」学研・400ホ (事典)「人体 ワイドV」学研・490フ 「ひとのからだ(図鑑ビクチャーベディア)」ほるぶ出版・030ス 「からだの大常識(これだけわかっておきたい3)」ポプラ社・490ヤ 「からだのひみつ」学研・490カ 「人体ーそのしくみと、はたらきー」スティブ=パーカー=評論社・490ヨ 「からだのふしぎしたいなⅡ⑧からだのなか」学研・490 ★虫歯についての本 「むし歯のもんだい」福音館書店・490キ 「口を大きくあけて! ~歯の学校はこちらです~」講談社・490ケ 「つよい歯の話」ポプラ社・490イ 「からだの物語シリーズ④目・耳・鼻・口」学研・490カ 月刊ポプラディア2006年6月号「むし歯について知ろう」(雑誌)	(市立図書館) 「からだのしくみとはたらき」西村書店・490 「知識の王様3・からだ」ポプラ社・490 「こどもの図鑑⑨からだとけんこう」ひかりのくに・491 「からだ あそびのおうさずかん」学習研究社・490 (出版目録) 「理科がよくわかるクイズの本 からだのしくみ」ポプラ社・400 「ひとのからだ」フレーベル館 「チャレンジ! からだの探検クイズ101」横山駿也ほるぶ出版・490 「ポップアップ人体えほん」ポプラ社・ 「人のからだ」講談社 「人間の体といのち」岡野薫子ほるぶ出版・490 「小学生「体のしくみ」大疑問100」講談社・491 (教師用参考図書) 「たべものたべかたファインプレー」 安藤節子・著(ばすてる書房) 「歯・口からひろがる健康学習一年間」 住田 実・著(学事出版) (インターネット) http://www.ale-net.com/hpcs/koku/chew/ (「かむ」ことば Yahoo! きつずり)
五 月	漢字の広場①	漢字の広場①	2 (書2)	◎絵を見て想像を広げ、3年生で習った漢字を使って、文を書く。	「漢ビュ太君の漢字絵事典1~6年」偕成社・810シ 「漢字大研究」ポプラ社・810 「チャレンジ漢字遊び」・ポプラ社・811 「国語っておもしろい②漢字と熟語」学研・810コ 「漢字クイズ絵本1~6年」偕成社・810ハ 月刊ポプラディア2004年2月号 漢字大研究(雑誌) http://dir.kids.yahoo.co.jp/School Bell/Japanese Language/?sort=L&img=zoom&start=0 (「学びの国」Yahoo! きつずり)	(市立図書館) 「楽しくわかる漢字の本1~8巻」小峰書店811 「絵でおぼえる 漢字の本1年生~6年生」・ポプラ社・811 (出版目録) 「漢字のランドセル1ねん~6ねん」らくだ出版・811 「ふしぎがいっぱい漢字のなりたち」・ポプラ社・811 (インターネット) (「学びの国」Yahoo! きつずり)
	春のうた	詩を楽しくもう	3 (書3)	◎情景を想像したり、リズムを楽しんで声にだしたりして読んだりし、作品世界に浸る。	「元気がでる詩・4年生」理論社・911 ごあいさつ「うたのてんらんかい」 工藤直子・理論社・9ク(絵本) 「どきん」谷川俊太郎・911タ	(市立図書館) 「地球へのピクニック ジュニアポエム双書④」谷川俊太郎著教育出版 春「スイッチョの歌 ジュニアポエム双書②」原田直友・教育出版・911 「げんげと蛙」草野心平・教育出版・911 春の詩六編「でていった」木村信子・教育出版・911 春のおと「五月の風」佐藤雅子・教育出版・911
	漢字の使役方典	漢字の使役方典	3 (書3)	◎漢字辞典に興味を持ち、使い方を知って、学習に生かす意欲を持つ。	例解学習「漢字事典」第6版・小学館・813	
	三伝えたいことをはつきりさせよう	新聞記者になろう	16 (書16)	◎新聞の役割や作り方に興味を持ち、身近な出来事取材して伝えたいことが明確な記事にし、友達と協力して楽しく新聞を作る。 ◎文章中に使われる主な符号の役割を知り、正しく使う。	「新聞をつかった総合学習実践集1~5」岩崎書店・370シ 「みんな新聞記者・学校新聞入門」全5巻 ポプラ社・375 「表現力を伸ばし、育成するはじめての発表・発表アイデア集1」 船多伸昭・学研	(市立図書館) 「パソコンで学級新聞を作ろう」学研・007 「総合的な学習のテーマがみつかるアイデア新聞①~⑤」 文研出版・375ソ 「社会科 ~調べ学習に役立つ~ 資料の読み方・つくり方 ⑥ 新聞・テレビ」ポプラ社・070 (インターネット) http://www.ale-net.com/hpcs/koku/shinbun/ (「新聞記者になろう」Yahoo! きつずり)
六 月	漢字の広場②	漢字の広場②	3 (書3)	◎絵を見て想像を広げ、3年生で習った漢字を使って、文を書く。	「漢ビュ太君の漢字絵事典1~6年」偕成社・810シ 「漢字大研究」ポプラ社・810 「チャレンジ漢字遊び」・ポプラ社・811 「国語っておもしろい②漢字と熟語」学研・810コ 「漢字クイズ絵本1~6年」偕成社・810ハ 月刊ポプラディア2004年2月号 漢字大研究(雑誌)	* 漢字の広場①を参照
	ローマ字	ローマ字	4	◎ローマ字に興味を持ち、簡単な単語を読んだり書いたりする。	「インターネット活用アイデア101」学研・540	(市立図書館) 「はじめてのローマ字の本1~3巻」汐文社・811
	伝言はまちがえずに	伝言はまちがえずに	13 (書13)	◎口頭で用件を伝達するとき大事なことが分かったり、メモの取り方を工夫して適切に話したり聞いたりする。	★メモの取り方の本「重要な部分を書くことの練習」 「まちがいだらけの言葉づかい1~7」・ポプラ社・800マ	(市立図書館) 「ことばの使い方じてん1年生~6年生」さえら書房810

(3) 4 学年 社会

学期	月	単元名	小単元	時数	ねらい	山内小図書館の本（「書名」・出版社・分類番号）	市立図書館・出版目録・インターネット
1 学期（40）	4 月	安全な暮らしとまちづくり（16）	オリエンテーション	1	・春の交通安全運動や交通指導員の活動を通して、まちの交通安全を守る取り組みに気づき、自分たちのまちの安全について関心を持つことができるようにする	(参考図書)ベスト教科事典 社会1(学研)030へ ★警察はどんな仕事をしているのか調べる 「みちかなくらしと地方行政③警察署」・リブリオ出版・310ミ	(市立図書館) 「くらしをまもる・くらしをささえる公害学習8警察署と交番」岩崎書店・308
	5 月		1・交通事故をふ	7	・交通事故の恐ろしさに気づくことから安全施設の役割や事故発生時の警察官の対応の仕方などを調べ、交通事故を防ぐための工夫や努力をとらえ、自分たちについて考えることができるようにする	月刊 ポプラディア 2007年9月号 警察官の仕事(雑誌)	(インターネット) http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesa4800.htm (yahooきっずより「神奈川県警察キッズクラブ」のホームページ) http://www.police.pref.osaka.jp/01sogo/koho/kids/index.html (yahooきっずより「大阪府警察キッズコーナー」のホームページ) http://www.police.pref.chiba.jp/publicity/kids_corner/ (yahooきっずより「千葉県警察キッズコーナー」のホームページ)
	6 月		2・火事をふせぐ	6	・火事の恐ろしさに気づくことから学校や地域にある消防施設の役割や消火のための協力のしくみなどを調べ、火事を防ぐための工夫や努力をとらえ、自分たちについて考えることができるようにする	★消防署について調べる 「小学生・社会科見学シリーズ11・消防しよのしごと」ポプラ社・300ナ 「写真でわかる小学生の社会見学 消防署」リブリオ出版・310ミ	(市立図書館) 「くらしをまもる・くらしをささえる公害学習7消防署」岩崎書店・308 「職場体験学習にすぐに役立つ本12・公共の職場 消防署・市役所・自衛隊」学研366
	7 月	健康な暮らしとまちづくり（15）	オリエンテーション	2	・自分たちが1日に使っている水の量の確保についての問いや調べる意欲をもつことができるようにする	★総合の資料リストも参考に 「写真でわかる小学生の社会見学1浄水場」リブリオ出版・310ミ 「小学生社会科見学シリーズ 浄水場」ポプラ社・300カ 「水とくらし」我那覇 念・文・沖縄出版・090カ	(市立図書館) 「上水道・下水道」岩崎書店 「水道水たんけん」がはじまった・アリス館 「水をきれいにしよう からだ・くらし・環境」ほるぶ出版
			1・水はどこから	11	・水の使用量の増加に気づくことから水道の経路や飲料水の確保の様子と関係、水資源を確保する取り組みなどについて調べ、環境と深くかかわる水の使い方について考える事ができるようにする	月刊 ポプラディア 2005年4月号 水道の水はどこからくるのか 「水をきれいにするためにできること」ポプラ社・500チ 「わたしたちの地球環境1. 水の循環とよごれ」小峰書店・519ワ 「新版環境とリサイクル11水のリサイクル」小峰書店・519カ 「“もったいない”からはじめよう」 3 みずがもったいない」学研・519ラ 「地球環境子ども探検隊5水といのちを考えよう」フレーベル館・519チ 「みんなの調べ学習3川と水とを調べる」ポプラ社・000ミ	(出版目録より) 「水」の総合学習（全4巻）・あかね書房 1水といのち 生命をはぐくむ水 2水の科学 水の不思議をさぐる 3水の環境 水が汚染されていく 4水とくらし 水のめぐみと生きる (インターネット) http://www.eb.pref.okinawa.jp/kids/index.html (おきなわの水)
	8 月		2・ごみはどこへ	9	・くらしから出るゴミの種類や量の多さに気づくことからゴミの収集、処理の様子と問題、リサイクルへの取り組みなどについて調べ、ゴミを減らす工夫や努力がなされていることに関心を持つことができるようにする	「写真でわかる小学生の社会見学」 2清掃工場・リサイクル施設」リブリオ出版・310ミ 「小学生社会科見学シリーズせいそう工場」ポプラ社・300ニ 「みんなの環境学習実践集2・ゴミはへらせる」岩崎書店・500ミ 「わたしたちの地球環境6ゴミ・リサイクル・再利用」小峰書店・519ワ 「新版環境とリサイクル9. ごみ処理場」小峰書店・519カ	(市立図書館) 「ゴミを調べる1衣・食生活とゴミ」さえら書房 「2. 住まいと身の回りのゴミ」さえら書房 「3. 社会活動とゴミ」さえら書房 「ゴミを減らす3つのリ(Re)」これらのリサイクルの形」ほるぶ出版 「ゴミをわける」アーニ出版
	9 月		ごみダイエット作戦	2	・これまで学習してきたことをもとにして、ゴミを減らすための工夫を考え、実際に取り組むことができるようにする	「新版環境とリサイクル12. 暮らしとごみ」小峰書店・519カ 「“もったいない”からはじめよう」 2 ごみがもったいない」学研・519ラ 「地球環境子ども探検隊1ごみ怪獣をやっつけろ」フレーベル館・519チ みんなの調べ学習2ゴミを調べる・ポプラ社・000ミ 「わたしたちの生きている地球ゴミとつきあおう」童心社・460 月刊ポプラディア 創刊準備号 地球をゴミから救いだせ 月刊ポプラディア 2004年 10月号 探検！リサイクル工場	(インターネット) http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/contview.jsp?cateid=68&id=3675&page=1 (うちなーのかんきょうのホームページ)
2 学期（45）	10 月	昔のくらしとまちづくり（19）	オリエンテーション	1	・昔から伝わる伝統行事や史跡、まちの昔と今の写真などをもとに、昔の人たちがどのような暮らしをしていたのか調べる意欲を持つことができるようにする	★沖縄県の昔の写真 「沖縄アーカイブ写真集」生活情報センター・K210オ(館内) 「写真集 よみがえる戦前の沖縄」沖縄出版・291オ(館内) 「目で見る沖縄・宜野湾・具志川・石川・中頭の100年」郷土出版090メ(館内) 「沖縄戦後50年の歩み」沖縄県・090オ(館内) 「写真集 沖縄戦後史」那覇出版社・090オ(館内) 「あやたん」沖縄タイムス・090リ 「甦る沖縄」沖縄県立博物館・090オ 「琉球・沖縄写真絵画集成」日本図書センター・210リ 「家のくらしのうつりかわり」岩崎書店・380ホ 「昭和の子どもたち くらしの移り変わり」学研・380シ	
			1・市の人たちの昔のくらし	7	・昔使われていた道具や地域に残る文化財・行事などを調べることに気づくとともにくらしの願いについて考えることができるようにする	★昔つかわれていた道具について調べてみよう 「昔のくらしの道具事典」岩崎書店・380ム 「昔のくらし・ポプラディア情報館」ポプラ社380ム 「沖縄の自然と文化シリーズ9沖縄のくらしと文化」ポプラ社・090ウ 「おきなわの自然と文化シリーズ8沖縄の年中行事」ポプラ社・090ウ 「図説・郷土のくらしと文化・上巻」新星図書出版・090 「沖縄の民具」聖教新聞・090セ 「ふるさと 沖縄の民具」沖縄文化社・380ウ 「図解むかしくらし1・着る物とはきもの」学研・210ス 2・食べ物と調理器具 3・住まいと家具 4・仕事と家具 5・行事遊び 6・町や村と乗り物 ★「学校のうつりかわり」について調べてみよう 「山内小学校記念誌」 「日本人の20世紀くらしのうつりかわり⑥小学校」小峰書店 ①着るもの・380ク ②食生活380ク ③住まい380ク ④家庭生活380ナ⑤遊び380ナ ⑦交通680ミ ⑧通信690ミ ⑨社会のしくみ310ナ	(インターネット) http://www.manabi-oita.jp/omc/kyouzai/mukashi/index.html (「昔の道具」をしらべよう)のホームページ http://rca.open.ed.jp/city-2000/house/ (「沖縄のすまい」のホームページ) http://www.nahaken-okn.ed.jp/watashi/ (「私たちの那覇市」のホームページ)

資料2・パスファインダー

★ パスファインダー ★

テーマ 「わたしたちの県と町まづくり」(4年社会)

パスファインダーとは、あるトピックを調べるために役立つ資料を、分かりやすく紹介した一枚のちらしです。分からないことがあったら図書館までお尋ねください。

手がかりとなるキーワード

本部町・みかん作り・読谷村・「やちむんの里」「紅いもの」(伝統工芸)
紅型・琉球漆器・豊後焼・芭蕉布・東国村のまづくり・沖縄県の地理

1. 参考図書(テーマの理解)

テーマの大まかな情報や最新情報を、参考図書(辞書・事典・用語集など)を使って確認してみよう。手がかりとなるキーワードを使い、資料についている索引を使うのが近道です

分類番号	書名
090	図説郷土のくらしと文化・上下巻
090	ふるさと自然百科
030リ	沖縄コンバクト事典
030ホ	総合百科事典ポプラディア・2(おきなわ県)

2. 図書

図書は「日本十進分類法(NDC)」で分類された、数字の順番に並んで鑑にあります

分類番号	内容	書名(著者名)
K291オ	自然・地形・気候	沖縄まるごと百科1 沖縄の自然
K291オ	祭り・行司・住まい	沖縄まるごと百科2 沖縄のくらし
K291オ	観光・農業・水産業	沖縄まるごと百科3 沖縄の産業
K291オ	伝統工芸・芸術	沖縄まるごと百科4 沖縄のことばと文化
090マ	地理	沖縄の社会科百科1 島のたちとようす
090ナ	伝統工芸	沖縄の社会科百科2 沖縄でそだった工業
750リ	伝統工芸	図説琉球の伝統工芸
090リ	伝統工芸(紅型)	琉球紅型
090	伝統工芸	沖縄の工芸
291ニ	地理・伝統工芸	新・日本各地のくらし1・あたたかい土地のくらし
290ク	農業・文化	ふるさとのかくし日本のむらとまち8 南島のくらし
600ニ	観光・産業	21世紀日本の産業・1
291ト	自然・産業・文化	都道府県別日本の地理データマップ7九州・沖縄地方

1/2

3. インターネット・新聞など

インターネット	内 容
http://www.pref.okinawa.jp/ 沖縄県のホームページ	自然・文化・産業・ 工業・総合的
http://www.motobu.or.jp/chiki/saken/mikan/index.html 本部町産工業「みかんの里」ホームページ	みかんの種類・作り方等
http://www.motobu.or.jp/chiki/saken/mikan/index.html 国産沖縄記念公園のホームページ	
http://www.yonitani.jp/beni/imo01_index/index.html (読谷村のホームページ「紅いもの」)	いもの作り方・歴史・種類
http://www.kougei.or.jp/crafts/0125/0125.html http://www.churumatsuri.net/topics/vol3.html (「読谷山花織」のホームページ)	読谷山花織
http://www.yonitani.jp/sakozu-jhu/dentoougei/top-dentoougei.htm (読谷村観光情報ページ「やちむん・読谷山花織」)	焼物 読谷山花織
http://www.will.agami.okinawa.jp/ (東国村のホームページ)	東国村自然・文化
http://www.churumatsuri.net/shima/agami/120010011_1/ (読谷山花織 沖縄地産研究所のホームページ)	まづくり
http://www.pref.okinawa.jp/kodomo/ (沖縄こどもランドホームページより)	産業・自然・文化

4. テーマに関係のある施設

施設名	内 容
国産沖縄海洋記念公園	美ら海水族館・ 本部伊豆見みかんの里
読谷やちむん市	みかん祭り(10月～2月ごろまで) 2月23・24日頃
探検り	毎年1月ごろ(八重岳・名護城址・今帰仁城址)
むらあむら	体験工房

2/2

〈主な参考文献・引用文献〉

「学校経営と学校図書館, その展望」北克一編著 青弓社 2004

「学校図書館論・訂定版」塩見 昇編 教育史料出版会 1999

「子どもが生きる学校図書館」熱海則夫・長倉美恵子編著 ぎょうせい 1999

「学習に学校図書館を活用しよう」紺野順子著 ポプラ社 2005

「パスファインダーを作ろう」石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会著 全国学校図書館協議会 2005

「学校図書館の活用実践事例集」学校図書館活性化研究会編 第一法規 1999

「授業が生きるブックトーク」ブックトーク研究会編 一声社 2007

「これからの学校図書館と学校司書の役割」全国学校図書館協議会編 全国学校図書館協議会 2005

「新しい時代に対応した学校図書館の施設・環境づくり 知と心のメディアセンターとして」

文部科学省 文教施設協会 2001

「学校図書館 No.680 2007 6月号」 全国学校図書館協議会

「『総合的な学習』に司書教諭はどう関わるか」林 容子著 全国学校図書館協議会 2002

「沖縄市立教育研究所 紀要 112号」(平成16年 第38集)